

夜間頻尿について



泌尿器科医師
羽田 真郎

山香病院だより vol.37

ます。またCa拮抗薬と呼ばれる薬剤が、夜間頻尿を来しうるものが知られています。

次に、②膀胱蓄尿障害です。

前立腺肥大症や過活動膀胱(突然に起こる耐え難い尿意・尿意切迫感を必須とした症状候群)、間質性膀胱炎(膀胱粘膜の知覚が亢進する疾患)といった疾患が挙げられます。過活動膀胱の原因には、脳血管障害やパーキンソン病、加齢などがあり、これらにより夜間頻尿が起きると考えられます。近年問題となっているのが

尿に関する疫学調査によれば、夜間頻尿(1回以上/3回以上の頻度は69・2%/13・5%でも問題となる症状として38・2%で挙げられていました。性別で見ると、夜間頻尿で困っている方は男性において女性と比べて顕著でした。

それでは夜間頻尿の原因としてどうか。大別すると、①多尿、②膀胱蓄尿障害、③睡眠障害と考えられています。それぞれについて解説します。始めに①多尿は、24時間尿量が40ml/kg体重以上であり、その原因として高血圧・糖尿病・尿崩症といった疾患や飲水過多が原因として考えられてい

③睡眠障害です。不眠症、うつ病、睡眠時無呼吸症候群などが夜間頻尿に関連すると考えられています。とくに高齢者では、睡眠が浅く分断されるため、覚醒しやすく夜間頻尿につながります。不眠があるから夜間頻尿になるのか、夜間頻尿があるから不眠になるのかは明確ではありませんが、悪循環をきたすことは間違いないと思われます。

以上のように、原因によつては生活習慣の改善や薬剤によつて夜間頻尿を治療することも可能と思われます。夜間に何度もトイレにおきてお困りの方は、泌尿器科を受診することをおすすめします。

みなさん、こんにちは。泌尿器科の羽田です。今回は夜間頻尿についてお話しします。夜間頻尿とは、夜間に排尿のために1回以上起きなければならぬという訴えです。臨床的には、夜間の排尿回数が2回以上になるとQOL(生活の質)が低下するために、治療の対象となることが多いと言われています。とくに高齢者では夜間頻尿の回数が多いほど転倒が多くなり、時には骨折の原因にもなることから、放置するよりは夜間排尿の回数を減らすために何らかの対応をとることが望ましいと思われま

す。日本排尿機能学会が2003年に報告した40歳以上の排